

日さくが創業110周年

65歳に定年引き上げ

さく井工事などを手掛ける日さく(さいたま市大宮

区、若林直樹社長)が25日に創業110周年を迎える。1912年にルーツとなる日本鑿泉(現日さく)が発足。翌13年に深さ160呎の本格的な深井戸掘削に日本で初めて成功し、72年に現在の社名になった。110周年に合わせて定年を61歳から65歳に引き上げた。希望する場合には65歳以降も、1年単位で70歳まで継続雇用することが可能としている。

若林社長は「社員一人一人が人間性を高めることによって、地盤や地下水との

共生関係を構築し、それにより社会に価値をもたらす企業として挑戦し続ける」とコメントしている。